

今回特集を組むにあたって、生徒の読書に関する実体を知りたくてアンケートをとりました。尋ねた項目は次の二つです。

友達におすすめの本はあるか、理由は何か。
本を読むのが好きか。なにかきっかけがあるか。
その中のいくつかを紹介します。今の中学生の気持ちが少ないですが垣間見えます。

友達におすすめの本とその理由

『青の炎』（貴志祐介／角川書店）

殺人を通して自分を見つめているところ。主人公の生き方を垣間見ることができる。

『カラフル』（森絵都／理論社）

自分の人生を客観的に見て、自分ですべてに向き合った「小林真」に感動した。

『黄色い目の魚』（佐藤多佳子／新潮社）

心身ともに成長していく過程が見られるから。一つの話が二つの視点で書かれているところがおもしろい。

『スターガール』（ジェリー・スピネッリ／千葉茂樹訳／理論社）

主人公がみんなに何を言われても「自分」というものを貫いているのがすごいと思ったから。

生徒のアンケートから

『ローワンと魔法の地図』（エミリー・ロッダ／さくまゆみこ訳／あすなろ書房）

勇気がないといわれていた主人公が知恵と勇気を出して最後までたどり着く物語で、あきらめなければできるといふことにすごく感動した。

キーワードは「自分」と「感動」だと思います。

本を読むのが好きになったきっかけ

・「ハリー・ポッター」を読んで、もつとおもしろい本を探してみたくなった。

・とにかく「おもしろい」からです。

・漫画とはちよつと違うおもしろさがあるから。

・好きな作家のシリーズものを真剣に読むようになったから。

・勉強でいらしたり、学校でむしゃくしゃしたりするときに、本を読むと安心して安らぎを感じられる。

・友達ができなくて、一人でさびしいときに本を開くといろんな物語があつてわくわくして楽しかったから。

・読む本によって、周りが違つ感覚になったり、その本の世界に入れるような気がしたりするから。

・「朝の読書」で少しずつでも読み続けたから。

・国語の先生がいつもいつも本をすすめてくれたから。